

令和2年度 学校評価実施報告書

幼稚園名（中京もえぎ幼稚園）

教育目標	
たくましく心豊かな子どもの育成 ～主体的に環境に関わり、好奇心・探求心豊かに夢中になって遊ぶ子どもの育成をめざして～	
年度末の最終評価	
自己評価	教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	令和2年10月15日	学校運営協議会
最終評価		

(Ⅰ) 幼稚園教育(保育の改善・充実)について

具体的な取組
・子どもが主体的に環境にかかわって遊ぶ姿を重視し、エピソードをとり、考察し、発達に即した育ちを探っていく。そして幼稚園教育要領の中の幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について意識して研修していく。 ・“ねがい”の生まれる援助や環境構成をするとともに、子どもの“ねがい”をとらえ、その実現のための環境構成や援助をする。
(取組結果を検証する)各種指標
・日々の保育の振り返りや子どもの姿の変容 ・エピソードや記録からの検討 ・アンケート項目「子どもは、幼稚園で遊ぶことが好きですか」 「子どもは、幼稚園でいろいろなことに興味をもって遊んでいますか」

中間評価

各種指標結果
・子どもの“ねがい”的生まれる援助や環境構成、その実現のための援助や環境構成について、エピソードをとり多面的に意見交換できたが、日々の保育の振り返りから、一人一人の心の動きや育ちをとらえ、幼児

理解について深めていきたい。

- ・アンケート項目「子どもは、幼稚園で遊ぶことが好きですか」「大変そう思う・そう思う」回答結果 99%
- 「子どもは、幼稚園でいろいろなことに興味をもって遊んでいますか」「大変そう思う・そう思う」回答結果 96%

自己評価	分析(成果と課題)
	<ul style="list-style-type: none"> ・エピソードや日々の記録から、子どもの姿を多面的にとらえ、意見交換してきたことで、個々の子どものねがいが生まれたり、ねがいを実現していくための援助につながった。引き続き、一日の保育の評価や反省から翌日の保育構築へつながる振り返りに力をいれていきたい。 ・アンケート結果からは、高い評価が見られた。
	分析を踏まえた取組の改善
	<ul style="list-style-type: none"> ・後期には、一人一人の心の動きや育ち、発達をもとに丁寧な幼児理解を深めていくとともに、環境づくりや援助に取り組んでいく。 ・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿についての研修についても、今後取り組んでいきたい。
	(最終評価に向けた)取組の改善を検証する各種指標
	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育の振り返りや子どもの姿の変容 ・エピソードや記録からの検討 ・アンケート項目「子どもは、幼稚園で遊ぶことが好きですか」 「子どもは、幼稚園でいろいろなことに興味をもって遊んでいますか」
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の教育活動の中で、地域の協力が必要なことがあれば協力したい。子どもたちの教育活動に励んでほしいと願う。 ・運動会の様子を見て、従来の形ではないが、それぞれの学年の子どもたちの育ちが感じることができ、この大変な中で、先生方が苦労しながら頑張っていることがわかった。

最終評価

	(中間評価時に設定した)各種指標結果
自己評価	分析(成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

(2) 幼小連携・接続について

具体的な取組
・「学びに向かう力」等、幼児期に育てておきたい力について園内で話し合い、個人差に留意しつつ、各年齢

において発達を意識して指導を積み重ねると共に、学びと育ちを繋いでいく。

・具体的な子どもの姿を通して、接続期カリキュラムの検証、改善等を行う。

・幼稚園の取組を近隣の保幼小に積極的に発信し、伝えていくと共に、各々の教育内容の違いや共通点について学ぶ。

(取組結果を検証する) 各種指標

・園内での「学びに向かう力」等、幼児期に育てておきたい力について、子どもの姿からのエピソードや意見交換

・幼稚園の取組の発信状況

中間評価

各種指標結果

・アンケート項目「小学校との連携や交流をすることは、子どもの育ちにつながっていますか」

「大変そう思う」「そう思う」回答結果 85%

・今年度は、子どもの直接交流や集合しての教員同士の研修などは難しい状況であったが、幼稚園教育理解推進事業の研究協議会を通して、子どもの姿や幼稚園教育について近隣の小学校とテレビ会議で話し合うことができた。また、今年度は、子どもの直接交流をすることは難しい状況であるかもしれないが、子どもの育ちを考え、例年とは違うできることに目を向け実現に向けて取り組んでいきたいという互いの願いが共通理解できた。

自己評価

分析(成果と課題)

・近隣の2校とテレビ会議というオンラインで小学校教員と幼稚園教員とが話し合う機会がもて、現状や子どもの育ち、幼稚園教育について、意見交換ができた。

・幼小連携・接続が、学校と幼稚園とのが組織的に取組を進めていくように取組んでいきたい。

分析を踏まえた取組の改善

・自園の1月の研究発表について発信し、幼稚園の取組の積極的な発信につなげる。

・後期に向けて、昨年までとは違う新たな交流のもち方や子どもの思いをつなぐ工夫について検討する。

・幼児期の終わりまでに育てておきたい力についての園内研修をもつ。

(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

・前期と同じアンケート項目「小学校との連携や交流をすることは、子どもの育ちにつながっていますか」から前期と後期の比較をする。

・幼稚園教育の取組の発信状況

・後期に向けて、昨年までとは違う新たな交流のもち方や子どもの思いをつなぐ工夫や計画、実践ができたか。

・幼児期の終わりまでに育てておきたい力についての園内研修がもてたか。

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

・幼稚園と小学校との交流は、昨年度と同じような進め方ではできないが、いつもとは違う状況の中で就学へと向かっていく子どもたちに、今年度もぜひ、一人一人の子どもが自信をもって小学校へ進学できるように幼稚園から発信し、小学校との接続を図ることは大事である。

最終評価

(中間評価時に設定した)各種指標結果	
自己評価	分析(成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題
学校関係者評価	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

(3) 預かり保育に関して

具体的な取組	
・記録を活用し, 異年齢の交流・預かり保育ならではの活動が取り入れられるよう工夫し, 子どもの実態にあったものにしていく。	
・担任と預かり保育担当教員が連絡を密にし, 子どもの心身の負担に配慮しながら, 保育を進める。	
・保護者との連携を密にし, 保護者同士のかわりがもてるようにしていく。	
(取組結果を検証する)各種指標	
・週の記録をもとにした振り返り	
・担任と預かり保育担当教員双方からの振り返り	
・保護者からの意見	
・保護者アンケート「預かり保育で異年齢児との交流やいろいろな友達とのかかわりを楽しんでいる」「預かり保育は,保護者のリフレッシュや就労支援につながっていますか」	

中間評価

各種指標結果	
・朝の預かり保育の時間と午後からの預かり保育の時間とそれぞれに週の記録をとり振り返りながら進めている。引き続き取り組んでいく。	
・担任と預かり保育担当教員との連携については, 日々子どもの様子を伝えあい情報共有への意識が高まっている。	
・アンケート項目・「預かり保育で異年齢児との交流やいろいろな友達とのかかわりを楽しんでいる」 「大変そう思う・そう思う」回答結果 87%	
・「預かり保育は,保護者のリフレッシュや就労支援につながっていますか」 「大変そう思う・そう思う」回答結果 97%	
自己評価	分析(成果と課題)
	・アンケート結果から, 預かり保育が保護者のリフレッシュや就労支援につながっていると感じておられる方が 97%と高い評価結果が見られた。一方で, 預かり保育(18:00まで)に参加していると子どもの日中の様子を聞く機会がないという意見が聞かれ課題もある。また, 保護者からは異年齢児との交流やいろいろな友達とのかかわりについて, 異年齢児が同じ空間でかかわる良さや年上の友達から

	<p>沢山刺激を受けてると感じるという意見が聞かれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児が同じ空間でかかる良さを活かしながら、預かり保育ならではの活動が取り入れられるよう遊びの環境や場を整えてきたが、さらに工夫して取り組んでいきたい。 ・担当教員と担任との連携や、担当教員と保護者との連携において園内で情報を共有して取り組んでいる。今後も引き続き取り組んでいきたい。
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、異年齢の交流や預かり保育ならではの活動が取り入れられるよう工夫に取り組んでいく。 ・週の振り返りから預かり保育のカリキュラムを見直していく。
	<p>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育のカリキュラムの見直し状況 ・担任と預かり保育担当教員双方からの振り返り ・保護者からの意見 ・保護者アンケート「預かり保育で異年齢児との交流やいろいろな友達とのかかわりを楽しんでいる」「預かり保育は、保護者のリフレッシュや就労支援につながっていますか」の前期と後期の結果を比較

学校
関
係
者
評
価

学校関係者による意見・支援策

- ・今後、就労で預かり保育に参加される保護者も増えてくるだろう。預かり保育を利用されている保護者との連携も工夫してほしい。

最終評価

	<p>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</p>
自己評価	<p>分析(成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題</p>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p>

(4) 子育ての支援に関して

	<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当教員による教育相談を隨時行い、保護者が相談しやすい雰囲気づくりに努める。 ・子ども同士のかかわりをする場の提供と共に、保護者同士も情報交換や悩みを相談する場となるようにする。 ・小規模保育事業所との連携を通して3歳児までの育ちや3歳児に必要な支援を学ぶ機会を設ける。
--	---

(取組結果を検証する) 各種指標

- ・教育相談参加者からの意見
- ・小規模保育事業所との連携や学ぶ機会の設定状況
- ・保護者アンケート「未就園児教育相談は、地域の子育て支援センターとしての役割を果たしている」

中間評価

各種指標結果

- ・未就園児の教育相談では、同年齢の子どもの保護者同士の交流や情報交換の場となっていた。
- ・保護者アンケート「未就園児教育相談は、地域の子育て支援センターとしての役割を果たしている」
「大変そう思う」「そう思う」回答結果 82%
- ・小規模保育事業所との連携については、園庭に遊びに来てもらったり、交流がもてたりできた。学ぶ機会の設定については後期に課題が残る。

自己評価

分析(成果と課題)

- ・未就園児の教育相談では、担当教員との教育相談や保護者同士の交流や情報交換の場となっていた。引き続き、相談しやすい雰囲気づくりに努める。また、地域の子育て支援センターとしての役割が果たせるよう、地域への未就園児の教育相談の周知に努める。
- ・小規模保育所事業所との連携では、園庭に遊びに来てもらったり、交流がもてたりできたが、学ぶ機会の設定についてはできなかった。後期に課題が残る。

分析を踏まえた取組の改善

- ・未就園児教育相談の周知の工夫をするとともに、地域の民生委員さんと連携、協力して進めしていくよう改善していく。
- ・小規模保育所事業所との学ぶ機会がもてるよう後期の計画を見直す。

(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

- ・保護者アンケート「未就園児教育相談は、地域の子育て支援センターとしての役割を果たしている」の前期と後期の結果を比較
- ・地域の民生児童委員の方との連携状況
- ・小規模保育事業所との連携や学ぶ機会の設定状況

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

- ・保護者アンケート「未就園児教育相談は、地域の子育て支援センターとしての役割を果たしている」の設問に未記入が15%あった。未記入があるのは、設問の文言がわかりにくかったのではないか。
- ・地域の子育て支援センターの充実に向けて、各学区に地域の民生児童委員の方がおられる。民生児童委員の方に相談してみるとよいだろう。

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果

両方

自己評価

分析(成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題

分析を踏まえた取組の改善

学校関係者による意見・支援策

(5) 地域とのかかわり(社会に開かれた教育課程)に関して

具体的な取組

- ・幼稚園便り・学級便り・HP の活用による幼稚園教育の発信を行う。
- ・学校運営協議会(もえぎティンクル)による幼稚園教育への参画の充実を行う。
- ・学校運営協議会(もえぎティンクル)による学校関係者評価を行い、取組の改善策を探っていく。

(取組結果を検証する) 各種指標

- ・幼稚園便り・学級便り・HP の活用状況
- ・学校運営協議会(もえぎティンクル)による学校関係者評価の振り返り
- ・保護者アンケート「学校運営協議会(もえぎティンクル)の方による幼稚園教育への参画(お茶会体験や祇園祭のお話会、絵本ボランティアなど)は、子どもの経験を豊かにしている」

中間評価

各種指標結果

- ・HP を活用し、幼稚園教育の発信に取り組んできた。更新回数が増えている。
- ・地域版のお便りを毎月地域へ配布し、幼稚園教育の発信に取り組んだ。
- ・学校運営協議会(もえぎティンクル)による幼稚園教育への参画については、今年度は、コロナウイルス感染防止の観点より様々な行事などを見直してきたため、参画の機会としては例年よりも少なくなった。
- ・学校運営協議会(もえぎティンクル)による学校関係者評価を行い、取組の改善策を探ることができた。
- ・保護者アンケート「学校運営協議会(もえぎティンクル)の活動は、幼稚園の経営を豊かにしていますか」「大変そう思う」「そう思う」回答結果 85%

分析(成果と課題)

- ・HP の活用による幼稚園教育の発信に努めてきた。昨年度よりも更新回数が増えている。引き続き取り組んでいきたい。
- ・学校運営協議会(もえぎティンクル)による幼稚園教育への参画について、前期は難しい状況だった。しかし、例年とは違うが、子どものために新しい取組もできた。後期について計画する。

分析を踏まえた取組の改善

- ・引き続き HP を活用し、幼稚園教育の発信に努めていく。また、学級便りについても取り組んでいきたい。
- ・学校運営協議会(もえぎティンクル)による幼稚園教育への参画について、後期については対策を取りながら工夫してできることを計画していきたい。

(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

- ・幼稚園便り・学級便り・HP の活用状況
- ・学校運営協議会(もえぎティンクル)による学校関係者評価の振り返り
- ・保護者アンケート「学校運営協議会(もえぎティンクル)の活動は、幼稚園の経営を豊かにしていますか」の前期と後期の結果を比較

学校 関係 者 評 価	学校関係者による意見・支援策
	・感染防止の観点からこれまで通りにできないことが多いが、“できない”という状況からは、新しいものが生まれるチャンスもあるので、工夫して取り組んでいってほしい。

最終評価

	(中間評価時に設定した) 各種指標結果
自己 評 価	分析(成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校 関 係 者 評 価	学校関係者による意見・支援策

(5) 教職員の働き方改革について

重点目標
・日々の仕事を組織的に工夫しながら、働き方改革を推進する。
具体的な取組
・校務支援員と連携した業務改善 ・勤務時間への意識改善 ・計画的見通しと優先順位をつけた業務の遂行
(取組結果を検証する) 各種指標
・校務支援員との連携した業務改善状況 ・長時間勤務の状況

中間評価

	各種指標結果
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが勤務時間への意識が向上し、長時間勤務の時間が減少傾向にある。 ・日々の仕事を組織的に工夫することについては、引き続き改善の必要がある。 	
自己 評 価	分析(成果と課題)
	<ul style="list-style-type: none"> ・校務支援員との連携で、業務改善につながっているが効率的な活用に課題も残る。 ・勤務時間への意識については、以前より改善してきている。 ・計画的見通しと優先順位をつけた業務の改善については、課題が残る。
	分析を踏まえた取組の改善
	<ul style="list-style-type: none"> ・校務支援員との連携については、業務計画を見直し改善に取り組む。

	<ul style="list-style-type: none"> ・それが日々の業務に計画的な見通しをもち進めていけるように発信していく。
	<p>(最終評価に向けた)取組の改善を検証する各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間勤務の状況 ・校務支援員との連携した業務改善 ・教職員への働き方改革についての発信状況
学校 関 係 者 評 価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き改善に向けて取り組んでほしい。

最終評価

	(中間評価時に設定した)各種指標結果
自己 評 価	<p>分析(成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題</p>
学校 関 係 者 評 価	<p>分析を踏まえた取組の改善</p>